

反省

①→エントリー× 再現性ないエントリー ただの運 引き付けて損切が正解だった。

②→エントリー× エントリーしようとした瞬間に（左クリックが反応しなくて刺さらなかった。刺さらなかったのは多分自信が無く迷っていたから。運ではなく、自分の迷いから必然的に刺さらなかった。）上に飛んで、指値ずらして天井でロングして、エントリーした少し後に損切ラインまで直行。

当初のエントリーラインの損切ラインで損切。損切幅が大きくなりこの取引で大きくマイナスに。

指値を上によらずルール破り。予想があっていたのに、刺さらなくてメンタル崩してしまった。

こうなるくらいなら、エントリーするときは自信をもってエントリーする。

最近負けすぎて、自信が持てないのか右人差し指もビビっちゃってる。

③→エントリー○ 損切○

④→エントリー○ 損切○

⑤→エントリー○ 損切○

明日に向けて

最近自分の手法が完全に機能しない。最終的な方向性はあっているが、含み損を許容しないスタイルだから、全部損切になっている。でも自分にはそのやり方でしか再現性を追求できないと思っている。

材料・気配値・指数等の動きから相場の方向性を上か下か決めて、上だと思ふのなら、サポートを日足や5分足で底を予想して、指値入れて刺さったら含み損を許容して、天井付近で利確みたいなのもあこがれるけど自分には無理。

想定と逆に行ったら、1回の取引で取引終了になるし、結局指値した所を基準に考えて、含み損になるということは、自分の予想が外れているから、含み損を許容して持ち続けることが出来ない。

トレンドについていくのが一番再現性高いと思うけど、資金が明らかに抜けていて、一方方向へのトレンドがあまり続いていかないから、エントリーするポイントがトレンド転換点になっている。トレンド転換の初動を狙う取引はしないと決めているが、値動きがそっち側に寄っているからやりにくい

負けすぎて、勝てるポイントに到達する前に、取引終了になるから明日は、勝率が低い手法を2個捨ててエントリーを初手からずらして取引する爆守備モードでやってみよう。

刺さらなかったら、諦める。寸前で刺さらずに、指値をずらさなかったらその時点で勝ち。指値ずらして勝ったためしない。

負けるくらいなら、刺さらずノートレになるほうが断然良い
期待値が収束するなら、負けても同じ行動をずっととおきたいという思いがあるが、まだデータを積みきれないから、本当に期待値がある行動なのかどうかの試行回数データが足りない

明日手法がフル機能する日だったとしても、後悔せずに爆守備モードを徹底したら勝ちにする